

「東京都予算案の概要(平成30年2月)」より

I 誰もがいきいきと活躍できる都市

■ 高齢者のすまいの整備 ③0460億円 (②9342億円)

- 特別養護老人ホーム整備費補助 ③0249億円 (②9125億円)
社会福祉法人及び区市町村に対し、特別養護老人ホームの整備に要する経費の一部を補助
(規模 新規分2,007人、継続分3,497人)
- 介護老人保健施設整備費補助 ③027億円 (②22億円)
介護老人保健施設の整備や大規模改修経費に対し補助
- 認知症高齢者グループホーム緊急整備支援事業 ③019億円 (②20億円)
認知症高齢者に対し専門的ケアを提供するグループホーム整備を推進 (規模 113ユニット)
(建築費の上昇に伴う高騰加算を導入)
- 区市町村所有地の活用による介護基盤の整備促進事業 ③05億円 (②0.3億円)
区市町村が所有する未利用の公有地を社会福祉法人等に貸し付ける際、区市町村の整備費補助を支援することで、都市部における介護基盤の整備を促進 (規模 6か所)
- 東京都サービス付き高齢者向け住宅供給助成 ③019億円 (②27億円)
有資格者等が常駐し、生活相談等のサービスを提供する住宅や、安否確認、緊急時通報サービスを提供する住宅の整備費等を補助 (規模 975戸)
- 地域密着型サービス等重点整備事業 ③04億円 (②4億円)
地域密着型サービスの整備促進を図るため、区市町村が行うサービス拠点等の整備に要する経費の一部を補助 (建築費の上昇に伴う高騰加算を導入)

など

高齢者の主なすまいの整備目標

年度	特別養護 老人ホーム	介護老人 保健施設	認知症高齢者 グループホーム	サービス付き高齢者 向け住宅等
平成28年度	45,916人	21,125人	10,260人	18,653戸
平成37年度	62,000人	30,000人	20,000人	28,000戸

超高齢社会を見据えた取組の全体像 (平成30年度予算額 13億円)

世界に例を見ない速度で高齢化が進むなか、高齢者が地域で安心して暮らしながら、いつまでも意欲旺盛に活躍できる社会の実現に向けた総合的な取組を実施します。

- ◆ 元気高齢者の活躍の場の創出 10億円
・介護講師派遣事業、とうきょうチルミルの創設、シニア向けセミナー農園整備事業を実施
- ◆ 認知症とともに暮らす地域あんしん事業 2億円
・認知症の地域ケアモデル及びケアプログラムの普及促進を実施
- ◆ 多世代の交流拠点の整備 包括補助
・地域サポートステーション設置事業により、空き家等を活用した多世代交流の拠点を整備
- ◆ Tokyoヘルスケアサポーター (仮称) の育成 3百万円
・地域の高齢者等に健康づくり等に関する啓発を実施
- ◆ 都民の活動・交流を支援する新たな体制の整備 0.2億円
・都民活動支援体制の検討により、共助・多文化共生の「都民の活動」を加速化
- ◆ 空き家の公的な活用 0.2億円
・地域活性化を促進する住宅への空き家利活用等支援を実施